

| | | | | |
|---------------|--|--------------------------------|---|------------------------------|
| 都道府県 | 福岡県 | 報告者 連絡先 | 氏名 赤津 嘉樹 tel093-581-0668 mail | |
| 団体名称/ 参加団体 | 福岡県 JRAT 医療法人共和会小倉リハビリテーション病院・福岡県作業療法士協会・福岡県理学療法士協会・福岡県言語聴覚士協会・福岡県介護支援専門員協会 | | | |
| 実施内容 | <input type="checkbox"/> 組織化・連携の動き | <input type="checkbox"/> 研修会実施 | <input checked="" type="checkbox"/> 訓練等実施 | <input type="checkbox"/> その他 |
| 実施日 | 平成 29 年 11 月 11 日 | 実施場所 | 北九州市立八幡総合病院 | |
| 概要 | <p>福岡県北九州市には、災害医療・作戦司令センター（Disaster Medical Operation Center；以下 DMOC）が組織されている。災害時に DMOC に情報を集約し、関係機関・団体へ情報を伝達していく体制である。年に 1 回、DMOC と関係機関とのシミュレーション訓練が実施されていて、今回初めて JRAT が訓練に参加した。</p> <p>医療関係者として北九州市行政、医師会、薬剤師会、看護協会、訪問看護等の多数の団体が参加し、被災者として近隣の学生が参加した大規模な訓練であった。訓練内容は、大雨による特別警報が発令され、河川氾濫による避難指示命令がだされとの想定で、DMOC が情報を集め、DMAT、JMAT、医師会、薬剤師会、訪問看護等へ人的資源や物資支援を要請し、各団体は支援要請に対して問題解決を図るシミュレーションであった。JRAT には、要請が 2 回あった。1 回目は『避難所 1 か所から DVT（深部静脈血栓症）の発生調査と予防支援の要請』があった。これに対しては 1 チーム 5 名(医師・PT・OT・ST・ケアマネ)を派遣することにした。2 回目は『臥床中の在宅療養患者への訪問リハ派遣』依頼があった。詳しい情報がわからないので、いったん保留としたが、状況確認（調査）するための個別対応をすることとした。治療行為については今後の課題とした。</p> | | | |
| 所感 | 想定が発災直後というところもあり、JRAT への依頼 2 つと少なかったが、他組織の活動状況や連携方法等が確認できた。顔のみえる連携ができたと思われる。同時に、福岡 JRAT としての課題も確認できた。 | | | |
| 今後の課題 | 福岡 JRAT としての活動拠点等がまだできていない。 また、災害時の活動体系がまだ明確になっていない。 | | | |
| 今後の活動予定 | 当訓練の振り返りを行う予定。 | | | |
| | | | | |